

柘植地域

# まちづくりだより 第197号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地  
(柘植地区市民センター内)

発行日 二〇一七(平成)二十九年九月十五日(金)  
電話 四五二八八八〇 FAX 四五二八八八三  
〒五二九一四〇二

柘植地域内12か所にカラー版設置中です

柘植地域俳句コーナー

十六夜の

月より吹けり

峡の風

中西昭子

## 未利用間伐材を搬出して、 森林整備を進めよう

生活環境部会

9月9日(土)午前、旧大山田村林地にて木材搬出実習をし、その後は旧青山町内にあるマルタピアにて、未利用間伐材バイオマス利用推進事業の手續き研修を受講しました。生活環境部会からメンバー2名が参加しました。



盆地にある伊賀市はまわりを山々に囲まれ、その北東部に位置する私たち柘植地域は柘植川や倉部川の源流域である霊山く木落谷く旗山く北打山く油日岳等の森林地帯を有しています。そのことにより、朝古川水源から上水道(『まちづくりだより』175号)を、また烏山池等より農業用水を確保するなど、私たちの先人は生活を豊かにし、経済活動の活性化にも役立たせてまいりました。

ところが、戦後の高度経済成長及び燃料革命により、森林整備が年々おろそかになり、また近年顕著な局所的な豪雨傾向とも相まって、林地の地滑り災害や獣害の温床などの環境悪化など新たな問題が発生しやすい状況になっているのが実情です。

柘植地域まちづくり協議会として、

例えば三重県事業の災害緩衝林整備事業(同175号)や三重県・伊賀市とともに鳥獣害対策(例えば177号や193号、195号)を進めたり、毎年7月上旬に実施される奥余野公園山開きや昨年度から始まったトレイルランニング大会(同179号)などを通じて森林の観光利用を進めることを重要視して関連団体と連携して取り組んでいます。

源流を有する地域としての責任を果たすためにも、大山田の阿波地域や布引地域と協力して、2月の林業イノベーション研修や6月の「森林経営計画」研修に引き続き、具体的な研修を今回実施することができました。

すでに生活環境部会として、区長部会とも連携し、区有林を中心に「みえ森と緑の県民税」等を活用した事業を森林組合とともに推進しています。

公益財産としての森林を  
持続的に維持していくために

# バイオマス材 1トン6000円

(森林法、各種制度に則った手続きをした場合)

## 森林を整備することで 生活環境を守り、作業の対価を得る

この事業は、みえ森と緑の県民税市町交付金事業による伊賀市の未利用間伐材バイオマス利用推進事業です。



① 未利用間伐材等を積み込む。



② マルタピア(伊賀市北山)へ運搬する。



③ 運び込んだ材の計量を行う。

④ 運び込んだ材は、専用の機械で、木質バイオマスチップに碎かれます。



★今後、生活環境部会を核に、柘植地域近辺にも「土場」をつくることなども検討し、将来のために、森林整備が机上で終わることなく実効性のあるものとなるようにと取り組みを進めます。関心のある方は部会までお問い合わせください。  
生活環境部会

林業や農業の担い手が減少していく厳しい時代状況の中、いまこそ、私たちが再認識・再評価すること、そして一人でも多くの人がアクションを起こし始めることで、将来にわたって経済的にも環境的にも地域に好循環を生み出すことができると思います。

森林整備に関心のある方にはぜひとも、この取り組みに参画していただきたいと思います。

### ★★★事務局だより★★★

▼9月1日より、市民センターの窓口業務が変更となり、「住民票」等の即時交付ができなくなりまし。その日もそのことを知らずにお越しになられた方が3名。「不便になった」とお話しになられていました。▼即時交付が必要な方は支所へ行っていたかどうか、マイナンバーカードを用いたコンビニ交付の手続きをとっていただければ幸いです。▼同じく9月1日。夜、西柘植地区市民センターで「地域における学びのワークショップ」が生涯学習課の主催で開催されました。佛教大学の内山淳子さんが、上野の比自岐地区での事例をもとにして、教育や文化の視点から地域の課題や困りごとに向き合う考え方を紹介してくださいま

ちなみに、JR(柘植駅~京都駅)は970円

した。すでにこの講座の募集要項は回覧済みですが、今後も講座は続きますので、追加で参加ご希望の方はお問い合わせください。

▼**知っトク情報!**伊賀上野(上野市駅)と京都(京都駅八条口)を結ぶ高速バスが、8月1日ダイヤ改正され、道の駅あやまに停車するようになりました。これは玉滝地域まちづくり協議会を核に郡部自治協が共同で要望書を出した成果です。

▼道の駅あやまの駐車料金は無料。京都駅八条口まで9分(1500円)とのこと。予約なしでも空席がある場合は乗車可能です。▼今号の紙面はお伝えすることも少なかったため、2ページ構成でお届けしました。(西田方計)